



★ **夏だ！勝負だ！先手必勝！**

夏期講習が始まります。テーマは『自分で考え、自分で判断し、自分で解く……幅広い、応用の出来る基礎力を身につける事！』です。

長い夏休みをうまく活用し、得意分野はますます伸ばし苦手分野を克服する大きなチャンスです。お互いに有意義な夏休みにしましょう。

★ **悔いのない「夏休みの過の過ごし方」**

1、夏の目標は、「基礎固め」と「苦手科目の克服」

夏は時間があるだけに、あれもこれもやりたくなくなってしまったり、あるいは何かから手をつけていかわからなくなってしまいます。そのために、きちんと目標を立てる事です。

2、自分の実力・学力を正確に把握

目標が決まったら「己を知る」こと。自分の学力はどのくらいか、得意分野、苦手分野はどこか具体的に把握する事です。

3、学習の維持・継続

計画が実行できるように、勉強を中心とした生活のリズムを作ろう。塾の夏期講習を利用したり、図書館を利用して「快適な学習空間」を確保する事です。

4、受験学年は志望校のレベルを知る事。

受験学年は先ず「敵を知る」こと。『彼を知り、己を知れば百戦危うからず』



1	火		17	木	
2	水		18	金	
3	木		19	土	
4	金		20	日	
5	土		21	月	
6	日		22	火	
7	月		23	水	夏期講習会スタート
8	火		24	木	
9	水		25	金	
10	木		26	土	
11	金		27	日	ト
12	土		28	月	
13	日		29	火	中3月例テス
14	月	保護者面談	30	水	
15	火	保護者面談	31	木	中1月例テス
16	水	保護者面談			

夏休みの計画は早めに！

7月の後半から待ちに待った夏休みです。しかし、夏休みと言っても勉強から解放されるわけではありません。1ヶ月以上の期間をどう過ごすかで学力に大きな開きができてしまいます。特に勉強が遅れぎみのお子さんには、遅れをとりもどすまたとないチャンスです。学習の計画をしっかりと立てて学力アップを図りましょう。

夏休みは長いので、休みの初期は特に遊びが優先になりがちです。その流れを放置すると、気がついたら「夏休みが残り1週間」ということにもなりかねません。長期の休みは「楽しい楽しい」であつという間に過ぎてしまいます。ですから夏休みの学習計画は休みに入る前に立ててしまい、夏休みが始まると同時にすぐ計画が実行できるようにしましょう。

さて、それでは夏休みの計画はどのように立てたらよいのでしょうか？

まず、学校の行事や習い事、塾の講習日、クラブ活動の予定、プールの日、登校日などを予定表に書き入れます。そして次に家族でどこかへ出かけるなどの楽しい計画も書き入れます。やはり夏休みですから、こうしたイベントは欠かせません。「これだけ勉強すれば楽しい旅行が待っている」と思えば、勉強にも自然に力が入ってきます。可能ならば旅行などの計画は7月よりも8月の中旬以降に予定したほうが、学校行事や塾の夏期講習などとも重なる事が少ないので無理がなく、勉強にハリをもたせるという意味でも効果的です。

次に勉強の計画ですが、やるべきことは「学校の宿題」、「苦手克服」、「1学期のまとめ」などが考えられますが、中3なら「中1と中2の復習」、また勉強が進んでいる人は「2学期の予習」などを目標にして計画を立てればよいでしょう。

また「暑い夏休みは涼しい午前中に勉強するのがよい」と一般的に言われますが、何もこれにこだわることはありません。最近は朝から30℃を越える日も珍しくありませんしエアコンもありますから、要は本人がいちばん集中できる時間帯に勉強の時間をもってあげればよいわけです。日程表を作るときにまずこれを頭においてもらいたいと思います。それともう一つは、ゆとりのある時間割にすることです。これは何も夏休みの計画表に限りませんが、1時間勉強したら10分から15分休憩を入れるとか、1日のうちで2時間くらいは予定の入らない自由な時間しておくといでしょう。その時間は勉強が予定通り進んでいけば自由に使っていいし、もしそうでないなら遅れを取り戻すための勉強の時間にあてることができます。_

★ **保護者面談を予定しています**

お忙しいとは存じますが、ぜひご出席下さいますようお願い致します。詳細は後日プリントにてお知らせ致します。